

ガバナー

月

2023.8

Vol.2

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信



江迎千灯籠まつり

2023-2024年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 緒方 信行



世界に希望を生み出そう

Governor's Message

2023-24 年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

index

ガバナーメッセージ..... 1

地区委員長挨拶..... 3

米山記念奨学委員長セミナー報告..... 12

国際青少年交換員会報告..... 13

インターアクト年次大会のご案内..... 13

地区大会日程のお知らせ..... 14

職業奉仕合同セミナーのお知らせ..... 16

ガバナーエレクト事務所開設のご案内..... 17

私の国際大会・編集後記..... 裏表紙

表紙説明 「江迎千灯籠(せんとうろう)まつり」

8月23日と24日に行われる、約500年続く伝統的なお祭り。見どころは、約3,500個の灯籠で飾られた高さ約25mのタワーで、日本一の高い灯籠タワーとしても有名。夕刻になると街中に約1万個近くの灯籠が灯され、光の世界に包まれた情景は、とても幻想的である。

8つの重点項目について

2023-24 年度 第 2740 地区 ガバナー 緒方 信行

2023-24年度 R I 会長ゴードン R. マッキナリー氏は当年度のテーマを「世界に希望を生み出そう」と発表されました。これを受け、私は地区運営方針を「継続と革新の理想的なバランス」としました。継続すると同時に変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

そのために以下の「革新」を進める上での8つの重点項目を設定しました。これから、その8つの重点項目について一つずつ、説明させていただきます。

1. 「デジタル化と情報の共有」

現在はデジタル化の進行が早く、SNS, AIチャット、マイナンバーカードなど生活のあらゆる場面にデジタル化が進行しています。勿論、ロータリーでは『My Rotary』、ロータリー文庫のデジタル化、クラブ週報の電子化、Zoomによる講習会、会議、セミナーが行われています。同時に、経費削減に大きく寄与しているのも事実です。しかしながら、ロータリーではSNSに不慣れた高齢者が多く、紙ベースの連絡方法も捨てられません。現在でも多くの会員が『ロータリーの友』などは紙ベースで読まれていると思います。RI理事会報告、規定審議会の結果報告などは『My Rotary』にも情報共有されますが、今年度から、速報として地区ガバナー事務所からRI理事会、規定審議会の情報を発信いたします。

あまりにも多くの情報が怒涛の如く押し寄せて来るために、会員はどのように対応したらよいのか迷うのが現実です。ここで強調したいのはクラブのロータリー情報委員会と雑誌文献委員会の活躍を期待したいのです。クラブのロータリー情報委員会、雑誌文献委員会は、『ロータリーの友』を拾い読みするだけでは、世界の、いや日本のロータリーの潮流に乗り遅れてしまいます。是非、『My Rotary』や地区からの情報にも耳を傾け、会員に周知して欲しいものです。

また、会員の皆様は、今年からPDF化によりリニューアルされたロータリー文庫の資料を活用されることをお願いします。多額の資金と人力をかけてやっと完成しました。ロータリー文庫にはロータリーに関する過去から現在に亘る120年間分のあらゆる雑誌、文献がPDFで保管されています。会員以外はアクセスできませんが、地区からアドレスとパスワードを供与しますので、クラブとして講演、会議、セミナーなどの資料としてご活用ください。『ロータリーの友』令和5年7月号の41ページに紹介記事があります。また、以下のURLにロータリー文庫Webサイトの利用方法に関する説明が有りますのでアクセスしてみてください。

URL : <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

また、クラブのセミナーや講演会で使用された資料（投稿原稿、講演資料）CD-ROM、ワードで作成した資料、パワーポイントで作成した資料等をロータリー文庫にご提供いただくと、ロータリー文庫に保管され、多くのロータリアンに活用

されます。著作権についてはロータリー文庫規約によります。

以上、ロータリーにとって、デジタル化と情報の共有化は避けて通れなくなりました。ロータリーはどんどん変化しています。時代についてゆくためにまずは情報をしっかり周知することが必要です。

2. 「DEIの推進」

先日の3代ガバナー会での話題にDEIについてわからないとの意見が出ているとの報告がありました。上村年度のガバナー月信に「今なぜ、DEIなのか？」という文章が出ています。もう一度、考えてみます。

あまり難しく考えてもわからなくなりますが、簡単に考えてみましょう。佐世保四ヶ町商店街のアーケードを歩いてみると「DEIってコレなんだ！」と分かります。歩いているのは日本人と多くの米国人。米海軍佐世保基地があるからです。歩いている日本人はすれ違う米国人に振り返る人は一人もいません。米国人は白人もいれば、黒人もいる、黄色人種だっています。背丈も高い、低い、筋肉質の人、細身の人等々。日本人も普通の格好をしています。中にはファッションモデルかと思間違う派手な服装の人もいれば、田舎から買い物に出てきた風情の恰好の人もいる。どれもその風景に違和感がない。言うなれば、これこそが「多様性(Diversity)」なのです。

そしてお店に入ると、お店の人は人種の違い、年齢の違い、都会や田舎に関係なく温かく接客してくれる。円での取引が一般的なのに、ドルを渡されても笑顔で対応しています。そこに分け隔てはありません。すなわち「公平(Equity)」なのです。

さらには、バーに入ると日本人も米国人もみんな一緒になって騒いでいる。お互いにコミュニ

ケーションができています。文化が一つになって混在しています。日本人は閉鎖的で、他文化を受け入れないイメージがあります。2740地区だけで見ても、習慣や風習にかなりの地域差があります。佐世保のこの一体感は何だろう？これこそが「包括(Inclusion)」です。ロータリー用語で言えば「親睦」と言えましょう。

皆さんはロータリアンです。佐世保のこの風景は国際会議に出席されればすぐにわかります。そうでなくとも、ビジネスで、奉仕活動で海外に行けば、DEIは必須であることと分かるはずですが、

世界ではグローバル化が進行していますが、グローバル化への対応は非常に難しい。コロナがそれを証明しました。でも世界の医療界にDEIの観念があったからこそ、長期間の時間が必要なワクチン開発も早急にできたのです。投与が迅速に開始され、死者を少なくすることに寄与できています。

現在、ウクライナ紛争に対する難民・被災者の救援が世界中から行われています。ロータリークラブでは政治活動が禁じられています。ただし、個人単位での奉仕は禁じられていません。弱者救済と倫理思想の実践が求められています。あらゆる困難に今こそDEIと奉仕の理想の実現が必要なのです。

地区委員長挨拶

R L I 推進委員会

帯屋 徹

大村 R C



当地区に RLI 推進委員会が出来て3年目を迎えるようになっていますが、「RLI とは何ですか？」と今でもよく質問を受けます。RLI とは、ロータリーリーダーシップ研究会、ロータリーのリーダーを育てる研究会です。

具体的に言うと、RLI の世界共通のテキストに沿い、パート1～3までの各6セッション合計18セッションを3日間、ファシリテーション方式により、研修を行います。

ファシリテーション方式とは、ディスカッションリーダーに与えられたテーマに関して、参加者同士で議論を交わす事で、ロータリーに関して色々な角度から考える機会を得て、参加者個人、個人が新たな気づきを得る場です。

なぜ今、RLI が必要なのか、それはロータリーが大きく変化をしているからです。ロータリーは創立118年を迎えました、20世紀のロータリーは創立時より殆ど RI 定款・細則を変えることなく活動を続けてきました。変えなくても会員は増加し、クラブも世界中に広がっていきました。

ただ、現在のロータリーの情勢としては、このままでは時代に取り残されてしまいそうです。そこで色々な改革が行われています。

「昔のロータリーはこうじゃなかった、自分たちはこう教えられた、今のロータリーは間違っている」との声も聞こえてきますが、間違っていないのです。ロータリーは時代のニーズに添うために変化しているのです。端的に言えるのは、3年に一度開催される規定審議会において、RI 定款・細則などが徐々に変化をしています。徐々にでは在りますが、積み重なると大きな変化に成ってしまいます。今まで分からない事は長老や先輩に聞けば大抵のことは教えてもらえましたが、今日のように3年毎の変化に対しては、自分たちで検証しながら学ばなければ取り残されてしまいます。

RLI のテキストも規定審議会が終わると、すぐに改変され新しいテキストが世界中で翻訳され発行されます。その中に現在の新しく変わった規定が掲載されています。

ロータリーの新しいリーダーになられる方、入会したばかりでロータリーのことが分からない方、共に語りながら学ぶ、RLI でロータリーの基礎知識を楽しみながら共に学びましょう。

クラブ管理運営委員会

野田 初憲

神崎 R C



2021-2022 年度、2022-2023 年度に引き続き、第 2740 地区クラブ管理運営委員長を拝命いたしました神崎ロータリークラブの野田初憲と申します。本年度の始動にあたり、改めてご挨拶申し上げます。

2023-2024 年度 RI 会長 ゴードン R・マッキナリー氏は、会長テーマ「世界に希望を生み出そう」を発表されました。私達ロータリアンが得意とすることを継続すると同時に、変化に対応してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けが出来るのだと述べられています。

3年半近く世界中を襲ったコロナ禍がようやく収束に向かっている今、様々な制約を受けたふれあいの場を復活・創出し、DEI の精神で全ての会員を大切にするとともに、ロータリーの原点に返り、基本理念(ロータリーの目的・四つのテスト)に基づき、継続的な活動を行うことこそが、クラブ全体の更なる基盤強化に繋がるものと思います。

ロータリー活動の中核を成すのは「奉仕と親睦」だと考えます。アフターコロナを見据えたいま、この大きな柱の重要性を再認識し、ファシリテーション手法のスキルを磨き、多様化の時代に即した創意工夫を凝らした会合の企画や、柔軟性をもったクラブの管理運営が出来るよう、メンバー一丸となり委員会活動に取り組んで参りたいと思います。

また、「女性会員の増強と活発化」「青少年活動の活性化」「リーダーシップ開発活動(RLI)の強化」についても引き続き関係委員会と連携し、推進に努めて参ります。

今後とも皆様方のご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

会員増強委員会

久保 泰正

諫早西RC



本年度、第2740地区の会員増強委員長として、この重要なポジションを与えて頂き、身の引き締まる思いをしています。

私たちのロータリーは、世界中で、地域社会の中で人々の生活を向上させるために活動する組織です。私たちの使命は、地域社会の発展と国際的な友好関係の促進に貢献する事です。そのためにも、会員の増強は不可欠なのです。

私たちの地区には、すでに多くの優れた会員の方々がいらっしゃいますが、私たちのロータリークラブをより強固にし、地域社会における影響力を高めるためにも新たな会員の入会が必要です。私たちは、多様性とインクルージョンを重視し、様々な背景や専門知識を持つ人々が私たちのロータリークラブに入会することを歓迎します。

地区会員増強委員会は、新会員の入会のための効果的な戦略を検討し、実行しなければなりません。各ロータリークラブにおいても、地域のニーズや関心事に合わせたプログラムやイベントを開催し、人々がロータリークラブに興味を持ち、参加したくなるような環境を作り出してください。

地区会員増強委員会の目的を達成するために、地区組織にも新たなエネルギーやアイデアをもたらすことが重要です。地区内外の様々なコミュニティと連携を強化し、地区各委員会との共同プロジェクトなどを通じてよりロータリークラブの会員増強に貢献したいと思います。

会員増強委員会は、共に協力し、知識と経験を共有しながら目標達成を目指します。私たちの地区、ロータリークラブをさらに発展させるために、地区委員になられた皆さまの参加とサポート、そして各ロータリークラブの皆さまのご協力をお願い申し上げます。

皆さんと一緒に協力し、私たちの地区そしてロータリークラブの未来を明るくするために努力しましょう。

公共イメージ委員会

公門 新治

佐世保北RC



今年度より公共イメージ委員長を仰せつかりました。佐世保北RC 公門(くもん)です。ロータリー歴は8年です。公共イメージ委員会では立ち上げ時より委員として6年間活動させていただきました。三代目の委員長になります。1年間、宜しくお願い致します。

さて、現在のロータリーの課題として、「ロータリーのことは知っているが、ロータリーが何をしているか知らない」という多くの市民からの評価のもとに、従来の日本のロータリーの奉仕に対する陰徳精神的考えから、ロータリーを人びとに紹介し、活動に対する理解、評価、支援を促し、最大限PRすることに力点を移し、広報活動を強調するようになりました。ロータリークラブに対する良いイメージが定着すれば、寄付やボランティアへの参加、入会において他団体よりも優位になります。ロータリーでは、個々の会員がブランドの推進者となります。「世界を変える行動人」とあるということを忘れずに活動しましょう。具体的には以下のような活動を行います。

- ・ソーシャルメディアやその他のメディアを通じて情報を発信する
- ・ロータリー外とのコミュニケーションを行う
- ・ブランドリソースセンターを活用する
- ・奉仕事例、学友の活動など、ロータリーの活動について、多くの人びとに伝える

また、昨年度より発足しました、九州4地区合同公共イメージ向上事業として、10月28日(土)の地区大会に合わせて、ポリオデーのイベントを企画しております。公共イメージ部門は単体では機能しにくいので、各部門と連携して活動したいと思います。会員の皆様にはご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

職業奉仕委員会

矢野 京子

諫早北RC



2023-2024 年度地区職業奉仕委員長を仰せつかりました。一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

今年度初めて委員長を拝命致しましたが、前年度まで委員長を務めて下さいました山本正樹さんに留任頂きご指導を受けながら遂行していく所存でございます。宜しくお願い致します。

昨今、職業奉仕が影を潜める現状があり、職業奉仕の理念が解らないという声や、3年未満の退会理由に「入会後にロータリーに関する十分な教育を受けなかった」という声が挙げられています。

それを踏まえ今年度はしっかりと職業奉仕を学ぶ場を設ける事に致しました。緒方ガバナー年度の新入会員を対象に「WEBによるディスカッション」を毎月第3水曜日 19:00より開催致します。歴代パストガバナー他全12名に新入会員向けに職業奉仕について卓話をして頂き、その後受講者とディスカッションをして理解を深めていく場を設けます。これにより、新入会員の退会防止に繋がっていきたく思います。尚、この講師の方々のビデオは地区ホームページに掲載していきますので、各クラブの卓話で使用して頂けるよう編集してアップします。またこの事業を行い退会防止に繋がったかのご報告は後日、月信に掲載予定です。

9月16日(土)には職業奉仕合同セミナーも予定しております。新入会員用のセミナーを講師にお願いしておりますので今年度は9委員会と合同でセミナーを開催予定です。講演後には会長・幹事にRLIでの「アウトプットする為のディスカッション」を開催します。講演を視聴した事をしっかりと各クラブへ伝えて頂く為のセッションと致します。

一年間宜しくお願い申し上げます。

① 毎月第3水曜日 19:00～「新入会員 WEB ディスカッション」

② 9月16日(土) 12:00～「職業奉仕合同セミナー」開催

社会奉仕委員会

小山 淳也

佐賀空港RC



コロナ禍の中、2021-2022 年度、2022-2023 年度をこの委員会へ所属して早3年目、ちょっと早いかなと思っておりますが委員長を仰せつかりました小山淳也と申します。

本年度の地区社会奉仕委員会のテーマとして「社会奉仕活動を通して、ロータリーの公共イメージと認知度を積極的に向上させよう」を掲げています。

活動方針①として、ロータリー奉仕デーへの積極的参加。

前々委員長の時から引き継ぎの事業です。各クラブへロータリー奉仕デーの企画、参加を呼びかけ、のぼりや看板等を使いながら、多くの市民の方々へロータリークラブの存在を知っていただき、公共イメージを向上させていきたいと思っています。

第2740地区として、2023-2024 年度も9月10日をロータリー奉仕デーとし、各地区クラブで河川清掃や道路歩道の清掃等を推奨していきたいと思っています。

活動方針②は、「ひとり親家庭支援」について更なる認知度の向上。

この事業も前委員長からの引継ぎ事業です。2022-2023 年度は実際に講演会が開催され、「ひとり親家庭」の現状をより一層認識して頂けたと考えます。よって、本年度 2023-2024 年度は社会奉仕としての活動として具現化して行きたいと考えております。

非力ではございますが、活動をしていきたいと思っていますので、皆様方ロータリアンのお力添えをお願いいたします。

地区委員長挨拶

ローターアクト委員会

安永 恵子

佐賀RC



ローターアクトクラブは、18歳以上の青年男女で構成され、リーダーシップを育みながら奉仕活動を行っています。地区内には、長崎、長崎北、長崎国際大学、鎮西大学ジャズアンサンブル、鹿島、佐賀の6クラブがあり、それぞれが地域の特色や属性を活かした活動をし、クラブ報告やクラブ訪問があるたびに互いに刺激をし合い、切磋琢磨しています。

新型コロナウイルス感染拡大期間中は、感染防止のため、ローターアクトクラブの活動も控えざるを得ませんでしたが、2022-2023年度は、感染状況を見極めながら顔を合わせる活動を再開することができました。鹿島ローターアクトクラブがホストを務めた地区大会は、完全リアルでの開催を実現することができ、地区内外のローターアクターが多数結集しました。SDGsを自分事として捉えるワークショップには来賓のロータリアンも参加し、若い方々の柔軟な発想に

思わず唖然するような場面もあり、大変、盛況に終わりました。

そして2023-2024年度は、更に結びつきを深め、ローターアクターの力でインパクトをもたらす活動ができるよう取り組んで参りたいと存じます。緒方がガバナーは、8つの重点項目の一つとして「ロータリーファミリーの設立」を掲げられました。ローターアクターは、このロータリーファミリーの中でもひととき大きな役割を担っていると考えております。

大学生や社会人で構成されているローターアクターは、インターアクトクラブの高校生にとっては身近な先輩として影響を与えられます。そして、交換留学生や米山奨学生とも年齢が近く、これまでも同席の機会があると、あっという間に打ち解けていました。このようなことから、ローターアクトクラブはロータリーファミリーの触媒として、結びつきを深める役割を果たすことができると考えています。

浅学非才の身ではございますが、皆様のお力を借りながら職務を全うさせていただきますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

国際青少年交換委員会

徳永 隆信

有田RC



国際青少年交換委員の委員長としてご挨拶いたします。この貴重な機会をいただき、心から感謝の意を表明します。

私は委員会に関わって7年になります。その間、さまざまな経験をいたしました。コロナパンデミックにより、私たちの活動は一時中断しましたが、喜ばしいことに、ようやくコロナ前の状況に戻る兆しが見えてきました。この希望に満ちた瞬間を喜びと感謝で受け止めています。

交換委員会は、ロータリーが国際的であることを実感できるやりがいのある委員会です。世界中の様々な地域と連携し、異なる国々のロータリアンとの交流を実現しています。これにより、相互理解を深め、国境を越えた友情を育んでいます。交換プログラムを通じて、私たちは相手の文化や価値観に触れ、新たな視野を開拓する機会を提供しています。

今年度は、交換委員会の発展と交換プログラムの充実を目指して努力します。私としては、是非ともロータリアンのご子息に2740地区の将来を担うべく国際感覚を身につけて頂く一助に当プログラムを利用頂ければと思います。

皆様のご協力と熱意が、私たちの交換委員会の成功に欠かせません。一丸となって、交換プログラムを通じて世界中の人々との連携を強化し、共に成長し続けることを目指します。

皆様のご支援と協力に心より感謝しております。一緒に素晴らしい活動を実現し、交換委員会をより一層充実させるために、努力と献身を惜まず取り組んでまいります。

最後に、この素晴らしいチームと共に活動できることを誇りに思います。皆様と共に、ロータリーの理念を広め、より良い世界を実現するために力を尽くす所存です。

地区委員長挨拶

インターアクト委員会

川島 雄輔

唐津RC



今年度、地区インターアクト委員長を拝命させて頂きました。初めての地区委員であり、かつ、委員長ということで、知らないことも多く、委員の皆様はじめ周りの皆様には例年以上のご協力をお願いしたり、時に多大なご迷惑をお掛けしたりしてしまうかもしれませんが、精一杯やらせていただく所存ですので、皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

インターアクトクラブは、ロータリークラブの提唱の下、12歳から18歳までの青少年男女が社会奉仕、国際理解、指導力育成に寄与した相共に活動する機会を得る場です。その活動は、主に学校あるいは地域社会を基盤として結成されていますが、インターアクトと言う名称のとおりに、「インターナショナル」(国際的)と「アクション」(行動)という2つの語に示されるように、世界的な青少年ネットワークとして発展しております。その主な目標は次のものとされています。

- 1 指導力と優れた人格の育成
- 2 他者を尊敬し、進んで助ける態度
- 3 各人の責任を果たすことや一生懸命努力することの価値の理解
- 4 国際理解と親善の推進

地区委員会では、以上の目標に照らし合わせ、先輩たちが築いて来られた礎を基に、創造性に富んだ奉仕の考え方をもち、地域、社会へ幅広い奉仕活動となるよう進めて行きたいと考えております。

地区インターアクト年次大会や指導者研修(前期・後期)などの例年の行事ごとのほかに、各インターアクトクラブ同士が恒常的に連絡を取り合い、情報交換や交流を持てる体制を整えていきたいと考えております。この3年間は、各インターアクトクラブも地区委員会もコロナ禍により活動を抑制されてきました。そうした逆境の中で発展したのがZoomをはじめとした通信環境です。これらを活かし、長崎・佐賀の距離を0にし、各インターアクトクラブが団結し、時に互いに切磋琢磨し、他地区や世界に目を向けていけるよう地区として主導していきたいと考えております。

さらに今年度は、新たに発足したロータリーファミリー委員会との連携ないしはサポートを得て、インターアクタの皆様は例年以上に、ロータリアンやロータアクタ、RYLA参加者との交流ができる機会を促していきます。

インターアクターにとってロータリアンはちょっと距離が遠い存在です。そこをより年齢の近い大人であるローターアクターが埋めてくれることで、インターアクターは、より、自身がロータリーファミリーでの大切な一員である事や身近な存在である事を認識してもらえと思っています。

またRYLA参加者や国際留学生との交流をより密に持つことは、インターアクターの価値観を広げ、より国際的に存在感を示せるリーダーへと彼らを導いてくれると考えています。

今年度、地区委員会は、他の委員会と比べて昨年度よりメンバーが新たになっています。冒頭触れたようにわたくし自身も経験には乏しいところとなりますが、その分、これまでの活動のみ問われることなく、新たな活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今後、皆様方のご支援ご協力を賜りながらこのような方針で地区委員会活動を推進していきますので、どうぞ一年間宜しくお願い申し上げます。

RYLA委員会

太田 陽子

大村RC



本年度、RYLA委員長を務めさせていただきます。一年間、どうぞ宜しくお願いいたします。

RYLAとは、地域社会、国際社会に奉仕する青少年リーダーの養成を目指して活動するロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の事を示します。

本年度は、リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、さらには世界を変えたい、そのような若者たちの思いを実現する為の、きっかけ作りの第一歩となるよう、更にはロータリアンと、今年新たに設立されたロータリーファミリー(すなわちローターアクト・インターアクト・国際青少年交換生)とで、共に集い、共に考え、情報交換を行い、未来のロータリーを考える有意義な機会となるよう活動して参ります。

また、本年度は「新生RYLA」の第一歩の年になるのではないかと考えております。当委員会を中心となり、明日のリーダーとなる方々にスキルアップして頂けるような事業を開催したいと考えております。

地区委員長挨拶

ロータリー財団委員会

岡村 康司

長崎南RC



2023-2024 もロータリー財団委員長を務めます。コロナで令和2年2月の補助金管理セミナー、同年11月の財団セミナー、それから翌令和3年も2つのセミナーが開催されませんでした。昨年令和4年2月の補助金管理セミナーはコロナの影響がやや低減したのでハイブリットでの開催も検討しましたが11月の財団セミナー開催に全力を投入することで委員会メンバーの団結を図り(2月は中止)11月の財団セミナーは上村ガバナーをお迎えし盛会のうちに充実したセミナーが開催できました。

今年度も地区補助金・グローバル補助金の積極的な利用促進、グローバル補助金奨学生の募集・選考・面接、ポリオ撲滅運動の支援、ロータリーカード加入促進、グローバル補助金平和フェローの活動に参加などこれまでできていなかった分野にも着手していきたいと思っております。

ります。

また、昨年度(2023年6月)は北タイの少数民族アカ族子供の就学支援も行い、私岡村が単身現地(タイ北部チェンライ県メーチャン郡センスック村)のアカ族子供寮まで足を運び完成した施設を見学し、贈呈式に臨みました。支援は今年度も可能な限り続けていきたいと思っています。

今年度も行動するロータリー財団を目指して頑張っていきます。区内55クラブの皆さん宜しくお願い致します。

補助金委員会

西川 義文

大村RC



今年度、補助金委員長に拝命された西川義文と申します。補助金委員会の中に次の3つの小委員会が配置され、この3小委員会で委員会に与えられた活動を行っています。

① 財団奨学・学友小委員会

小委員長に喜多清基君(島原RC)を中心に、ロータリー財団の7つの重点項目に沿った奉仕活動のためにグローバル補助金を使っての奨学生選考と、現在、留学のためガンビアへ派遣の泉田真生君、デンマークへ派遣の濱田隆君、イギリスへ派遣の宮崎俊樹君、スペインへ派遣の手島文香君、アメリカへ派遣の田代将人君と、5名の世話をしています。

同じくロータリー財団の7つの重点項目以外の科目や研究で2740地区補助金を使っての財団奨学生の募集・選考・派遣を行っています。

② グローバル補助金・平和フェロー小委員会

小委員長に古川尋美君(佐賀南RC)を中心に各クラブからのグローバル補助金の申請や承認された補助金事業の報告書送付という終結までをTRFの指導に基づき対応しています。

同様に地区補助金を使っての海外地区クラブとの国際奉仕への支援も行っています。

また、国際紛争の解決等の専門人として担う平和フェローの募集やフェローとの交流に努めるようしています。

③ 地区補助金小委員会

小委員長に松尾延大君(長崎南RC)を中心に各クラブが行う地区補助金を使っての奉仕事業をTRFへ申請し、完了を報告するまでの間の支援や多種多様なクラブからの対応に精一杯協働にて、各クラブが行う地区補助金を利用しての奉仕活動を地区委員会として協力して行います。

皆様からの貴重な年次寄付や特定寄付を2740地区で有効に使えるよう3小委員会共に頑張ります。

ロータリー財団への寄付は地元地域を含む世界中で困っている人々のために有効に使われるよう、補助金委員会として精一杯務めます。

地区委員長挨拶

資金推進委員会

藤田 昭比古

島原RC



2023-2024年度、第2740地区資金推進委員会委員長を仰せつかりました、島原ロータリークラブの藤田昭比古と申します。どうぞよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済活動が思うようにできない情勢が続きましたが、先日第5類に引き下げられて以降、家計や企業活動がコロナ禍前の水準まで回復しております。

当委員会はロータリー活動を資金面から支えている「ロータリー財団」に対する寄付を推進する委員会です。地区が設定した寄付目標(一人当たり年間150\$、ポリオ根絶支援など)の金額を達成できるように支援する活動を行ってまいります。

皆様から頂いたご寄附の90%以上が奉仕プロジェクトに直接生かされます。

ロータリークラブは発展途上国の平和活動に携わる人材を育成するなど持続可能な影響をもたらしています。またポリオ根絶活動においても予防接種活動を通じて発症数を99.9%減少させました。わずかな寄付で一人の子供の命を救うことができます。

ロータリーがポリオ撲滅に投入する資金に対してビル&メリング・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするため、ご寄附が3倍になってポリオ撲滅活動に生かされます。

皆様からのご寄附は地域社会や国際貢献に大きく貢献しています。ポリオ根絶の達成、米山奨学会への積極的な支援のためにも、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ポリオプラス委員会

村上 英毅

佐世保北RC



2023-2024年度の、ポリオプラス委員長を務めさせていただくことになりました。私たちの目標であるポリオの終結を実現するため、尽力してまいります。

ポリオプラスの目的はポリオ根絶ですが、ポリオ根絶キャンペーンのプラスの部分をもたらす恩恵も非常に重要です。ナイジェリアでは、ポリオの後遺症で体の不自由になった人たちに手動三輪車を提供したり、貧しい集落に、生活に必要な安全な水を届けることで、人々との信頼関係が深まりました。

ポリオウイルスは人糞を通じて感染するため、ポリオ根絶するには、人々が汚水を飲んだり、汚水の中に入ったりを防ぐことが非常に重要になるので、安全な水の供給はとても意義があります。また、マラリアの蔓延を防ぐ殺虫剤処理済の蚊帳がポリオ予防接種中に配られ、マラ

リアの感染も防ぐことができました。

場所や地域とニーズに応じて、プラスの部分が変わります。予防接種以外のものを提供することで、これまでに拒んでいた家族が子どもを予防接種に連れて来るようにもなりました。ポリオプラス補助金で支えられる保健員のボランティアが、医療サービスを提供するためのインフラを整え、世界の大部分で集められなかったデータを収集しています。

ポリオプラスの活動は、死に至る病気を地球から根絶するだけでなく、世界で最も弱い立場にある子どもたちの命を救うために、より良い医療システムを築き上げることでもあります。ポリオ根絶へはあともう少しと言われています。各ロータリーのそれぞれの地域社会で募金活動を行ったり、パートナー団体や個人のサポートが欠かせません。

ロータリアンの皆様、今期もご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長挨拶

資金管理委員会

香月 章彦

佐世保中央RC



本年度より、ロータリー財団委員会委員兼ねて資金管理委員会委員長の佐世保中央ロータリークラブの香月章彦と申します。

平成 24 年の入会后、初めての地区出向にもかかわらず委員長を拝命することになりました。ロータリー財団委員会のことも含めて、理解不足のこと多々ございますが、委員会の諸先輩にご意見を頂きながら、会務を進めて行ければと考えています。

当委員会の仕事内容は、地区補助金、財団補助金を利用するロータリアンに向けて、財団の事業の周知と利用の推進を図ることと伺っております。

補助金の利用に関しては、RI 及び財団の公正で明瞭な会計ルールの下に厳格に行いますが、それが利用の促進を妨げないよう配慮していきたいと思っております。

宜しくご協力のほどお願い致します。

米山記念奨学委員会

松田 洋一

諫早北RC



今年度で4年目の第 2740 地区米山記念奨学委員会委員長を仰せつかりました、諫早北RCの松田です。今年度もどうぞ宜しくお願いします。

米山記念奨学事業は、皆様ご承知の通り、勉学や研究を志して日本に留学している外国人留学生に対して、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間団体では、国内最大規模の奨学団体です。年間の奨学生数は約 900 人で、これまでに約 23,500 人、131 の国と地域の奨学生を支援して参りました。これからの将来、母国と日本の架け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を支援する事を目的としています。

元奨学生の中には、幅広い分野で活躍をし、母国の政府から表彰されたり、日本国政府から外国人叙勲を受章したり、又、駐日大使館職員や大学教授等になって、日本との架け橋とな

っている学友もいます。

地区委員会では、ロータリアンの皆様の寄付金に託す思いと感謝を実績で伝える為に、お世話クラブとカウンセラーの方々と協力しながら、ロータリアンが求める平和の心、奉仕の心を、学生に理解してもらう様に努力して参ります。

又、今年度も広報寄付増進担当リーダーを本村一委員(佐賀西RC)に、学友奨学生担当リーダーを本多喜彦委員(雲仙・諫早南RC)のベテラン委員お二人にお願いし、地区委員一丸となって米山記念奨学事業の運営や活動に対して、邁進する所存で御座います。

今年度も緒方ガバナーより、個人平均寄付金額 16,000 円/人を目指す様にと呼び掛けて頂いておりますので、国際奉仕の真髓であります米山奨学事業に対して、ロータリアンの皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げ、委員長就任の挨拶に代えさせていただきます。

地区委員長挨拶

ロータリーファミリー委員会

徳川 清隆

唐津RC



今年度、新しく組織された委員会「ロータリーファミリー委員会」の委員長を拝命致しました。このロータリーファミリー委員会は、ロータリー奉仕プロジェクトの青少年奉仕部門『インターアクト委員会』『ロータアクト委員会』『国際青少年交換委員会』『RYLA委員会』のそれぞれのプロジェクトについて、強い連携が取れるようサポートをし、ロータリーの青少年奉仕活動を側面から担う青少年奉仕部門の委員会と捉えております。

ロータリーの奉仕理念の下、青少年奉仕活動が充実と拡がりを持ち、ロータリーとの深い関係性を作り、今後の青少年奉仕活動へロータリアンと青少年が共に歩んでいけるように図ります。

注力する内容としては、それぞれのプロジェクトに参加された方々、特に若い方々(青少年)にロータリーの奉仕理念を理解し、共感が持てるよう施していきます。そして、ロータリアンとの

交流が出来る機会を作り、ロータリーが望む次世代リーダーの育成に繋げていきたいと考えます。

これを踏まえ、当地区の青少年奉仕活動でも特にRYLA(ロータリー青少年指導者プログラム)事業がその目的に合致していると考えます。その事業の参加者の中で特に若い青少年たちへ、リーダーシップスキルの向上と共に、心に残る生涯にわたるロータリーの奉仕理念を吹き込み、ロータリアンと共に歩めることに繋げていければと思いを馳せます。そして、ロータリーファミリー(ロータリアンと青少年)がともに気づき合い、共に考えることで将来のロータリー奉仕理念を創造していければ幸いです。

新しい委員会ではありますがロータリーの青少年奉仕部門の更なる発展に繋がるよう、委員会の運営を図りたいと考えています。皆様のご協力ご支援を賜りながら一層のロータリー活動発展に尽力いたしますので宜しくお願いします。

米山記念奨学事業セミナー報告

米山記念奨学委員会 委員 青野 悠 (長崎中央 RC)

2023～2024年度 米山記念奨学事業セミナー

2023年6月24日(土) 諫早文化会館において、国際ロータリー第2740地区2023-2024年度米山記念奨学事業セミナーが、当地区43クラブの会長、幹事等にお越しいただき開催されました。

当日は、千葉副ガバナーエレクト、米山記念奨学会の駒井理事によるご挨拶の後、米山記念奨学委員会の松田委員長より、米山記念奨学事業について説明があり、奨学生の自己紹介を挟んで、本多地区委員による米山学友会の説明、本村地区委員により寄付増進のお願いがあり、最後に、石坂ガバナーノミニーに総評をいただいて閉会となりました。

本セミナーでは、2022-23年度の各クラブの米山記念奨学事業への寄付金額をランキングにより発表させていただきました。米山記念事業は、会員各人の寄付により成り立っており、皆さまからいただく寄付の金額により、当地区に割り当てられる奨学生の人数も決まりますので、このようなランキングによる発表について、ご容赦いただくとともに、各クラブの皆さまにおかれましては、歴史ある本事業が末永く継続できるよう、寄附へのご協力をよろしくお願い申し上げます。



国際青少年交換委員会報告

国際青少年交換委員会 委員長 徳永 隆信 (有田 RC)

6月24日(日)、平安閣諫早サンプリエールに、上村春甫ガバナー、山下雄司地区幹事をお迎えし、2022-23年度最後のオリエンテーションを行いました。アウトバウンド候補生4名は、英語で自己紹介30分スピーチを披露しました。インバウンド生3名は、日本語で留学生活の感想をスピーチしました。共に1年間のオリエンテーションを経て、語学技能は格段の進歩でした。インバウンドの子ども達は支障なく、日本語会話ができるようになっていました。前年度インバウンドの一人、グレイスさんの一番好きな日本語は「一期一会」だそうです。6ヶ月留学のオーストラリアの子供たちが帰った後、女子は1名となり寂しかったそうですが、その後、メキメキと日本語習得が進んだそうです。6月7日～13日に行われたジャパンツアーは東京・新潟・大阪・京都と回りましたが、ROTEXの6名にも手伝って貰い、楽しい旅行となりました。オリエンテーションが終わった後に、新旧委員会懇親会を行いました。千葉憲哉次年度副ガバナー、村瀬高広次年度地区幹事も参加されて、次年度に向けて宴席談義を行いました。今年度はアウトバウンド生4名、インバウンド生2名になります。スポンサークラブの皆さま、1年間よろしくお祈りします。



◆アウトバウンド 4名

氏名	派遣クラブ	受入地区
中村こころ	佐世保南 RC	Lethbright 5360 CN
松崎プラナポン健士	島原 RC	Glens Falls 7190 USA
井手彩樺	有田 RC	Arlington 5050 USA
カトローニソフィア	長崎 RC	Saint Paul 5960 USA

◆インバウンド 2名

氏名	派遣地区	受入クラブ
Katelyn Joy Norek	Airdrie5360,Canada	佐世保南 RC
Justine Alicia Morais	Alma7790,Canada	島原 RC

尚、有田RC・長崎RCは次年度の受け入れとなります。

インターアクト委員会よりお知らせ

◆インターアクト年次大会開催のお知らせ◆

2023-24年度国際ロータリー第2740地区インターアクト年次大会を開催します。今回の地区年次大会は聖和女子学院高等学校をホスト校として、「一步、ふみだす。」をテーマに開催します。本大会が有意義な大会となりますよう、ホスト校一同、心を込めて準備を進めております。下記の通り、ご案内いたしますので、是非、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

日時	2023年8月5日(土)9時20分～ 登録受付
場所	アルカス佐世保
大会テーマ	「一步、ふみだす。」
基調講演(午前)	「社会問題に挑戦する若者の一步」 講師 根津 朋子 様 (ルワンダ発ファッションブランド「Alizeti (アリゼティ)」代表)
分科会(午後)	第1分科会 「困難を体験してその先に見えるモノは？」 企画・運営担当 西海学園高等学校 I A C 第2分科会 「西九州ならではのボランティア」 企画担当 佐世保高等専門学校 運営担当 聖和女子学院高等学校 I A C 第3分科会 「私たちの文化を世界へ」 企画・運営担当 聖和女子学院高等学校 I A C
ホストRC	佐世保南RC
ホスト校	聖和女子学院高等学校

国際ロータリー第2740地区 2023-2024年度

地区大会



世界に希望を生み出そう

2023年10月27日金・28日土

本会議会場 アルカスSASEBO 懇親会会場 ホテルオークラJRハウステンボス



第2740地区ガバナー
緒方 信行



第2740地区副ガバナー
千葉 憲哉



佐世保北RC会長
松田 信哉



地区大会実行委員長
富田 耕司



継続と革新の理想的なバランス

この度、国際ロータリー第2740地区第5・第6グループより緒方信行ガバナーを選出し、グループの皆様のご協力を頂いて、地区大会を佐世保市で開催する運びとなりました。

ゴードン R. マッキナリー国際ロータリー会長は、「世界に希望を生み出そう」というテーマを発表しました。本年度の地区運営方針は「継続と革新の理想的なバランス」です。継続すると同時に、変化に対してはオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望の世界を築く手助けができます。ポールハリスの言葉に「友情は、ロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神は、ロータリーの心を結びつけるものです」また、「贅を尽くした宮殿で安らぎがないよりも、質素な家で心豊かなほうがはるかに望ましいものです」さらに「ロータリアンは、言葉より行動に心をひかれます」という言葉があります。

このようなポールハリスの想いをいただいて本年度の地区大会を開催したいと思います。どうぞ多くの皆様のご来訪を心よりお願い申し上げます。

Rotary  国際ロータリー第2740地区 ホストクラブ：佐世保北ロータリークラブ

国際ロータリー第2740地区 2023-24年度 地区大会事務局 〒857-0874 佐世保市京坪町2-3 Nビル2階
連絡先 TEL 080-9203-4185 FAX 0956-80-3164

地区大会プログラム

— 大会1日目 —

10月27日金

●ロータリー研修セミナー

●18:30～20:30

RI会長代理歓迎晩餐会

会場：ホテルオークラJRハウステンボス

(長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL:0956-58-7111(代))



ホテルオークラJRハウステンボス

— 大会2日目 —

10月28日土

会場：アルカスSASEBO 大ホール

(長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL:0956-42-1111)



アルカスSASEBO

●12:00～12:50…… 登録受付・青少年の集い(エンドポリオイベント)

●13:00～14:27…… 本会議 [第1部]

●14:45～16:05…… 記念講演会(80分)

【講師】 認定NPO法人 アジアチャイルドサポート代表理事

池間 哲郎 様

(日本を含む8カ国で支援事業を展開中)



●16:20～17:20…… 本会議 [第2部]

懇親会場へ移動

●18:45～20:15…… 懇親会

会場：ホテルオークラJRハウステンボス

(長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL:0956-58-7111(代))

— 大会3日目 —

10月29日日

●8:00～16:00

記念ゴルフ大会 会場：ハウステンボスカントリークラブ

(長崎県西海市西彼町八木原郷2879-2 TEL:0959-28-1800)



●エクスカーション

国際ロータリー 第2740地区

2023-24年度

職業奉仕合同 セミナー

開催日

2023.9.16(土) 11:30~受付
12:30~16:00

参加委員会

- 職業奉仕委員会 ■クラブ管理運営委員会 ■会員増強委員会 ■公共イメージ委員会
- 社会奉仕委員会 ■ロータリーファミリー委員会 ■ローターアクト委員会
- インターアクト委員会 ■RYLA委員会

セミナーの内容



国際ロータリー第2620地区 甲府北ロータリークラブ
小林聡一郎パストガバナーによる講演

第一部「ロータリー概論—ロータリーは一日にして成らず—」

第二部「ロータリーの正統 日本の職業奉仕」

第三部 各委員会に分かれての
ファシリテーション及びディスカッション

開催場所

鎮西学院高校

〒854-0082
長崎県諫早市
西栄田町1212番地1



駐車場

駐車場は振興局予定地(空地)詳しくは
QRコードにアクセスしてご確認ください。

〒854-0071 長崎県諫早市永昌東町26 長崎県庁 県中央振興局西側空地
分科会への参加で終了時間に誤差がありますが
駐車場に限りがありますので乗り合わせの上 お越しください。
※駐車場において発生した事故・盗難について、管理者は一切の責任を負いません



国際ロータリー第2740地区

ガバナーエレクト事務所開設のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度7月3日より国際ロータリー第2740地区ガバナーエレクト事務所を下記の通り開設いたしましたのでご案内申し上げます。

今後とも何卒、ご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

国際ロータリー第2740地区
ガバナーエレクト 石坂 和彦
次期地区幹事 森 広康

記

- ◆事務所：〒856-0832 長崎県大村市本町458番地2 中心市街地複合ビル1階
- ◆TEL：0957-51-6439
- ◆FAX：0957-51-7054
- ◆E-mail：ri2740ishizaka@octp-net.ne.jp
- ◆執務時間：10:00～16:00 (月～金曜日)
※土曜・日曜・祝日休ませていただきます。
- ◆事務局長：田原 範隆
- ◆副事務局長：高瀬 英三
- ◆事務局：宮田 真由美 平野 郁子

※なお、当事務所は2024年7月1日よりガバナー事務所となります。



私の 国際大会

佐世保ロータリークラブ 増本 一也

2019年6月、第110回国際大会がドイツのハンブルグで、全世界から約3万人の登録、日本からも約3千人の登録のもと開催され、地区幹事として妻と共に、当時の福田金治ガバナーに帯同しました。福田ガバナーも、ご夫人とご一緒される予定でしたが、ご夫人は前年ご病気で急逝、この日のために奥様に着物も新調されていた福田ガバナーの心中察するに余りありました。国際大会に出席したのには、地区から預かった信任状を提出するという重要な役割がありました。RI会長のバリー・ラシン氏が登壇されると、全員が総立ちになり万雷の拍手が鳴りやみませんでした。会場には民族衣装の方々もおられ、終始、和やかなムードの大会でした。大会後、ハンブルグ在住の里見さん（佐世保出身）のエスコートで、ロータリアンの仲間と共に、ハンブルグ名物のニシン料理を堪能したのも良い思い出になりました。



編集後記

本格的な夏入りを前に、各地で大雨の被害が広がっています。災害に対する事前の備えと、危険を感じたらすぐに避難する心構えをもっておくことが大切です。さて、新年度も始まり、各クラブで新たな事業開催に向けた準備をお進めのことかと思えます。ガバナー月信では、さまざまな事業を紹介していきたいと思えます。皆さまからのご寄稿をお待ちしています。

